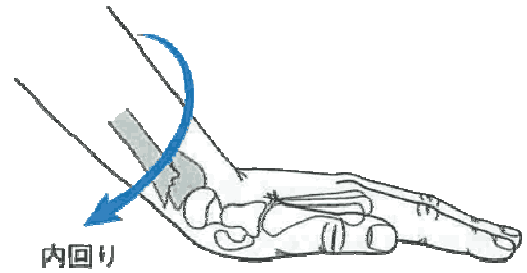


(D) コーレス骨折

※柔理テキスト P232~235

☆ 橈骨遠位端部骨折の特徴

- ・骨折の頻度が高く、幅広い年齢層に発生する
- ・幼小児では、**若木骨折・竹節状骨折・骨端線離開**となる事が多い
- ・高齢者では、**粉碎骨折、多発骨折**が多い



[原因（発生機序）]

- ・多くは**介達外力**によって発生する
- ・手関節に**背屈力**が強制され、橈骨遠位端部に**掌側凸**の屈曲力が働く
- ・前腕遠位部に過度の**回外**の捻転力が加わる

[症状]

1. 骨折線

- ・前額面：**橈側近位**から、斜めに**尺側遠位**に走る
- ・矢状面：手関節の**1~3cm**近位の掌側から**背側**近位方向へ走る

2. 転位

- ・**背側転位、橈側転位、短縮転位、捻転（回外）転位**

3. 変形

- ・骨折部の厚さと幅が著しく増大する
- ・高度の**背側転位**は**フォーク状変形**を呈する（側面像）
- ・高度の**橈側転位**は**銃剣状変形**を呈する（前後像）

4. 腫脹

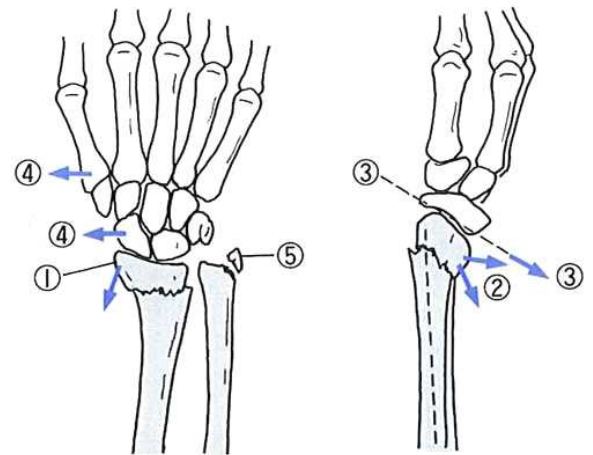
- ・前腕遠位部・手関節・手部にみられ、受傷数時間後には手指にまで及び

5. 疼痛

- ・限局性圧痛、介達痛、運動痛を認める

6. 機能障害

- ・前腕の**回外運動制限**
- ・手で物を握る
→第1指と第2指で摘む等の動作・手関節の運動制限などの障害が出現する



[鑑別診断]

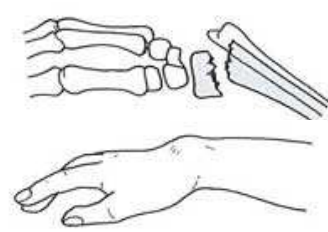
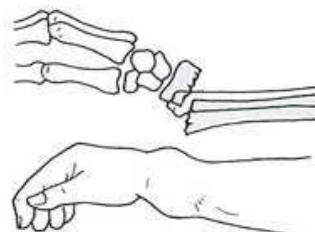
・遠位端部骨折

伸展型骨折（コーレス骨折）

屈曲型骨折（スミス骨折）

コーレス骨折
（橈骨遠位端部骨折）

スミス骨折
（逆コーレス骨折）



・骨端線部骨折（骨端線離開）

・辺縁部骨折

Barton骨折（背側 Barton骨折・掌側 Barton骨折）

背側 Barton骨折



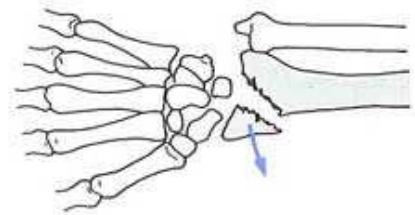
掌側 Barton骨折



ショーファー骨折（関節包内骨折）

T・V・Y字型骨折などの関節内に骨折線が走るものも一部辺縁部骨折に含む

ショーファー骨折
（自動車運転手骨折）



[整復法]

☆ 牽引直圧整復法

- ・前腕回内位にて末梢方向に牽引を行い、捻転転位・側方転位、短縮転位を除去する。

[固定法・後療法]

- ・肘関節 90° 屈曲位、前腕回内位、手関節軽度掌屈位、軽度尺屈位
- ・肘関節を含み MP 関節の手前まで固定
- ・手指の運動は循環改善のため、受傷翌日より開始する
- ・固定除去後から、手関節の自動運動を開始する

[合併症]

- ・尺骨茎状突起骨折
- ・舟状骨骨折
- ・遠位橈尺関節脱臼
- ・月状骨脱臼
- ・変形治癒
- ・指・手・肘・肩関節の拘縮、前腕回旋障害（特に高齢者）
- ・手関節の外傷性関節炎
- ・橈骨遠位端成長軟骨板損傷による成長障害
- ・橈骨神経・正中神経・尺骨神経の神経麻痺
- ・反射性交感神経性ジストロフィー（RSD）（ズデック骨萎縮を含む）
- ・長母指伸筋腱の断裂（高齢者は注意する）
- ・手根管症候群